

Awara News

あわらニュース vol.75

平成30年10月1日発行

「多くの人の笑顔のために」

- 重症心身障がい、難病、長寿医療を柱とし、地域に密着した専門医療を提供します。
- 社会的なアプローチを組み入れ、患者中心の心あたたまる医療を実施します。
- 臨床研究、教育研修、安全管理をとおして、常により質の高い医療を追求します。
- 公益性を確保し、効率的で自立した病院経営を推進します。



「平成30年度あわら病院納涼祭」開催

あわら病院互助会 西村 重之

9月13日(木)、当院に勤務している職員・家族の親睦を図る事目的に「平成30年度あわら病院納涼祭」を開催しました。8月頃から総勢20名以上の職員で「納涼祭実行委員会」を立ち上げ、開催に向けて準備を進めてまいりました。

納涼祭では、「焼き鳥」「フランクフルト」「枝豆」など祭りならではの食べ物や、「スーパーぼーるすくい」「輪投げ」など子供も楽しめる屋台のゲームを行いました。また、今年は坂井市の職員で構成される「Sakai City's」をゲストに迎え演奏していただきました。

本来は、職員駐車場のスペースで、やぐらを組み、提灯をつけるなど祭りらしくするのですが、当日はあいにくの雨であり、室内での開催となりました。それでも多くの職員・家族の方々が来場し、親子で屋台ゲームを楽しみ、家族で焼き鳥をほおばり、Sakai City'sの演奏で盛り上がり、みなさんとてもいい笑顔で過ごしていました。

ご参加いただいた職員家族のみなさんおよび納涼祭実行委員のみなさん、ありがとうございました。

看護師が地域コミュニティを学ぶ意義



看護部長
藤原 恵子

この度の西日本の台風、北海道地震で被災されました皆様に、心よりお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復旧と平穏な生活を取り戻せますよう、お祈り致しております。

猛暑の8月が終わりほっとする間もなく、「台風」「地震」と自然の猛威は大きな爪痕を残し、公助である私たち病院は、“何ができるのか”“何を備えるべきか”を考えさせられる毎日でした。地域に根差した病院としての役割を果たすために、私たち看護部では、入院や訪問看護を必要とされる方々の地域を知ることが大切と考え、連携している福祉施設の協力のもと、この7月に施設での研修をさせていただきました。研修の目的は、福祉サービスの実際を知ること、病棟看護師が在宅支援の視点を持つこと、切れ目のない支援のための連携を考えることとしました。研修生は、病棟経験3年目の看護師です。介護老人福祉施設での福祉サービスの実際を

見せていただき、住み慣れた自宅に近い環境で一日を過ごせるような支援と工夫を知り、生き生きとした表情で過ごされている利用者の方に触れ、直接お話をすることができます。施設での生活支援は介護職を中心であり、病院からの情報提供のあり方や連携の取り方なども、わかりやすい表現で行うことが大切であると、研修生が気づくことができました。地域コミュニティ全体で、地域の高齢者を支えていることに気付き、あわら病院の担っている役割を改めて振り返る良い機会となりました。

看護師としてはまだ駆け出しだすが、これから高齢社会を支える大切な人材であり、リーダーシップを取ってほしいと願っています。この学びを活かし、地域の皆さんに信頼できる看護が提供できるよう、今後も努力していきたいと考えております。

最後になりましたが、お忙しい中研修を受け入れていただきまし、金津雲雀ヶ丘寮と芦原メロン苑の皆様に心より感謝申し上げます。



血液腫瘍・がん医療

血液・腫瘍内科医長 大槻 希美

当院では急性白血病をのぞく悪性リンパ腫、多発性骨髓腫、骨髄異形成症候群、慢性骨髓性白血病、慢性リンパ球性白血病などの悪性疾患、骨髄増殖性疾患、その他血液疾患に対応しております。当院には無菌室が2室あり、無菌管理が必要となる化学療法も可能です。ここ数年で多発性骨髓腫をはじめとした血液疾患に対する新しい治療薬が使用可能となっております。当院でも適応のあるかたに対して使用するようになりここ5年間での変化を感じております。

また、訪問看護に関しては当院の訪問看護ステーションアイリスのサポートで在宅療養がさらに充実してきて

ます。

緩和ケアに関しましても初期治療と緩和ケアを並行して実施しています。終末期の緩和ケアももちろん行っており、限られた時間をよりよくすごせるようサポートしています。前年ご案内した特別室もご好評をいただいておりありがたいことに空きがほとんどない状態です。療養の点におきましてはご家族と大切な時間をすごすことも可能となっております。詳細につきましては当院にお問い合わせください。





地域医療連携施設のご紹介

あわら病院と連携している医療機関等をご紹介します

奥村医院



奥村医院

〒919-0632 福井県あわら市春宮2丁目8-3
TEL(0776)73-0171

当院は昭和61年に開業して早や32年になりました。この寄稿も2回目になります。

当院は泌尿器科・皮膚科・アレルギー科の専門医院として、更に内科の「かかりつけ医」として地域に根ざした医療を目指して努めてまいりました。おかげさまで今日まで微力ながら地域医療に実績を残すことが出来ましたのは、地域の医療機関や医師会ケアセンターや介護事業所の皆様のご協力・ご支援をおかげと感謝しております。

なかでも、自宅で療養を希望される患者様の在宅医療を行ってきましたが、後方支援病院の存在が欠かせません。とりわけ、あわら病院は、休日の入院対応を始め、「安心連携カード」の連携医やレスパイト入院など大変お世話になっており感謝に堪えません。

今後も地域医療にお役に立てるよう、「生涯現役」を目標に頑張って行きたいと思いますのでよろしくお願いします。

院長 奥村 良二

診療科目	診療時間	月	火	水	木	金	土	備考
泌尿器科 内 科 皮膚科 アレルギー科	9:00~12:30	○	○	○	○	○	○	休診日 木曜午後 日曜・祭日
	14:00~18:00 (土曜は17:00まで)	○	○	○	×	○	○	

「支援ツールのご紹介」アイスイッチを導入しました

作業療法士 小林 純也

ALSなどの神経難病患者さんは四肢の筋力低下や構音障害などの症状が進行すると、コミュニケーションがとれない、ナースコールの操作ができないなど、日常生活に様々な支障が出てきます。そのような患者さんがコミュニケーション機器やナースコールを操作するため、病状の進行も考慮しながら最適な「入力スイッチ」を選択し使用しています。

今年度、当院では、「視線の方向」や「瞬き」によってスイッチ入力が可能である“アイスイッチ”を導入しました。ALSは目の動きが最後まで残存しやすく、四肢が全く動かない、声がでない方でもアイスイッチを使用してコミュニケーションを図ったり、

ナースコールの呼出操作等を行うことができます。また、最近ではスマートフォンユーザーも多いため、Bluetoothでスマートフォンやタブレット端末と各種入力スイッチをつなぎ、アプリ等を操作できる“なんでもワイヤレス”を取り入れています。

これからも、患者さんの症状の変化だけでなく時代の変化にも対応できるよう、そして患者さんが安全に安心して過ごせるように支援をしていきたいと思います。



アイスイッチ



なんでもワイヤレスを
使用してiPadを操作



アイスイッチで
ナースコールやiPadを操作

外来担当医表

(平成30年10月1日現在)

診療科		月	火	水	木	金
総合	内科	津谷 寛	津谷 寛	見附 保彦	見附 保彦	宮崎 晋介
	小児科	川満 徹*	川満 徹*	川満 徹*	湯浅 光織*	川満 徹*
専門	リウマチ			津谷 寛	津谷 寛	
	血液・腫瘍			浦崎 芳正*	大槻 希美	
	生活習慣病			鈴木 友輔(第2・4)		
	老年					棄田 敦(第1・3・5)
	神経			遠藤 芳徳(第1・3・5)		
	循環器	見附 保彦	見附 保彦			
	外科	齊藤 貢	齊藤 貢	齊藤 貢	齊藤 貢	齊藤 貢
	整形外科	浅井 一希				
	眼科				吉岡 達也*	
	皮膚科		若原 真美			若原 真美
	地域ケア	鈴木 友輔				
	禁煙外来	見附 保彦	見附 保彦			

●受付時間8:30～11:30 ●黄色枠は予約制 ●*印は午後診察 ●休診日／土・日・祝日・年末年始

※皮膚科の診察は、火曜日・金曜日の午前中(9:00～11:00)です。

※神経内科の診察は、第1・3・5水曜日(8:30～11:30)です。

栄養管理室便り

あわら病院の栄養管理室は、入院されている患者様に食事で季節を感じて頂きたいと思い行事食の充実を図っています。

春は、旬の桜海老を使用した「桜海老ごはん」や若竹を使った「筍ごはん」。

夏は、涼しげに3色のそうめんを天の川に見立てた「七夕そうめん」や夏の風物詩の「ハモの湯引き」、土用の丑の日には「鰻のかば焼き」。

秋は食欲の秋であり、香りだけでも食欲が湧いてくる「まったくご飯」やホクホクの食感とほのかな甘い香りの「栗ごはん」。

冬にはクリスマスや、お正月の行事に合わせて「クリスマスプレート」や「おせち料理」を

栄養管理室 栄養管理室長 西井 和信

準備させて頂いています。

また、摂食が困難な患者様へは形態の調整やムース状の食品を利用して安全に満足して食べて頂けるように工夫しています。

栄養管理室は上記以外にも様々な行事食を企画しており、入院患者様に大変好評を得ています。今後多くの人の笑顔のために、栄養管理室は安全で満足できる食事を目指してまいります。



独立行政法人 国立病院機構 あわら病院

福井県あわら市北潟238-1 TEL.0776-79-1211(代表) FAX.0776-79-1249
(地域医療連携室) TEL.0776-79-1212内線(785) FAX.0776-79-1261
URL <http://www.awara-hosp.jp/>

【診療科】内科、小児科、外科、皮膚科、血液・腫瘍内科、リウマチ科、神経内科
老年内科、循環器科、整形外科、眼科、リハビリテーション科

【病床数】172床

【教育】日本内科学会認定教育関連施設、日本血液学会、日本リウマチ学会認定施設

交通のご案内

えちぜん鉄道「あわら湯のまち」駅より(5km)
乗合タクシー(デマンド交通) [事前予約が必要]

JR北陸本線芦原温泉駅より(10km)
乗合タクシー(デマンド交通) [事前予約が必要]